

アルゼンチンのクリスチーナ・キルチネル大統領(60)に脳内出血があり、医師団が1ヶ月間の休養を命じた。これにより、10月27日の議会選挙に向けたキリストンへの同大統領の選択が難しくなるとの見方が広がっている。クリスチーナ大統領が命じられたのは、長い頭痛と不整脈を感じている。

アルゼンチンのクリスチーナ・キルチネル大統領(60)に脳内出血があり、医師団が1ヶ月間の休養を命じた。これにより、10月27日の議会選挙に向けたキリストンへの同大統領の選択が難しくなるとの見方が広がっている。クリスチーナ大統領が命じられたのは、長い頭痛と不整脈を感じている。

議会選挙の応援は出来ず

難しくなる3選への準備

大統領が脳内出血で休養

アルゼンチンのクリスチーナ・キルチネル大統領(60)に脳内出血があり、医師団が1ヶ月間の休養を命じた。これにより、10月27日の議会選挙に向けたキリストンへの同大統領の選択が難しくなるとの見方が広がっている。クリスチーナ大統領が命じられたのは、長い頭痛と不整脈を感じている。

マリーナ衝撃のPSBへの電撃加入



5日、共同で記者会見を行なうマリーナ氏とカンボス氏

伯国政界への「第3の勢力」

14年の統一選挙前の党移籍手続き締め切りとなる5日、有力候補と見られるながら自身の新党設立が承認されなかつたマリーナ・シウヴァ氏が、同じく出馬有力候補のエドワルド・カンボス氏が首脳をつとめるブラジル社会党(PSB)への電撃加入を発表し、政界に衝撃を与えた。6日付伯字紙が報じている。

カンボス氏の副大統領か?

力

新党不承認で「プランC」

東西南北

南北

絶えぬ銃声、険しい和平

平和への道は遠く！

比ミンダナオ和平合意1年

〔共同〕フィリピン南部ミンダナオ島を拠点とするイスラム武装勢力とフィリピン政府との和平交渉は、7日で枠組み合意から1年がたつ。最終合意に向けた協議が続く中、銃声は絶えない。別の武装勢力と国軍の大規模交戦も発生した。「紛争を次世代に持ち越さない」。イスラム戦士の願いは強いが、和平の道は険しい。



軽機関銃のモロ・イスラム解放戦線の兵士

「対話と協調を大切にすること」を掲げる社会であつてほしい」と話す。ス・アルフォンソさん(16)の静かな訴えが、紛争と貧困で疲弊しき渡式。周囲に水田がある地帯で、あいさつ

イスラム教徒が多いピ

キットは、国軍とイスラム武装勢力との激戦地の一つで、多くの避難者が出てきたこともある。イスラム教徒による銃を使つた争いは今も頻発する。

式典には約300人が集まり、政府と和平交渉を進めるモロ・イスラム解放戦線(MILF)や別のイスラム武装勢力、モロ民族解放戦線(MNLF)のそれぞれの地元幹部も顔を見せた。校舎は、紛争地での支援活動をする日本のNPO

「アシア日本相互交流セ

活性化する日本NPO

活動をする日本NPO

活動をする日本

